

令和3年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立浅子小中学校	作成者	職名	教頭										
電話番号	0956(68)2052		氏名	香田 隆										
1 年間の実施内容(取組状況・実績等)														
4月	実施テーマ	「自己を見つめ直し、職場の連帯感を高めよう」～不祥事を起こさない職場づくりに向けて～												
取組の評価・改善点 教職員の綱紀の保持について通知等をもとに校長より事例等を通して指導し、併せて「心と性に関するチェック」を実施したことで、不祥事根絶の意識が高まった。 (改善点)時間をかけてディスカッションする時間がとれなかった。														
7月	実施テーマ	「信頼される学校づくりをめざして」～各種行事を通しての保護者、地域との交流と連携～												
取組の評価・改善点 いのちを見つめる教育週間において、道徳授業の公開に加え、学校評議員会を開き、地域の代表の方と懇談的に話をする事ができた。また、育友会と連携し、教職員と保護者・児童生徒と一緒に活動するスポーツ大会の場をつくり、交流を深めた。さらに担任との面談の場を設け、児童生徒の様子を伝えつつ、学校の取組への理解と協力を求めた。地域の方や保護者からは、学校の先生方との距離が縮まってよかったとの声を受けた。														
12月	実施テーマ	「体罰等をはじめとする不祥事根絶」												
取組の評価・改善点 校長より指導のあと、チェックリストによる自己評価を行った。職員同士の話し合いもでき、自分自身での宣言を取り入れることで自分事になることはよかった。今後も、取り入れていきたい。														
2 服務規律委員会														
委員会名	服務規律委員会													
構成員	所属内委員(10名)、外部委員(2名 役職等:育友会長・学校評議員)													
3 年間を通しての計画の達成状況														
年間を通しての取組状況チェックリスト														
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号(ア～コ)で回答ください。(複数回答可)														
<table border="1"><tr><td>カ</td><td>キ</td><td>ケ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> その他(ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。)					カ	キ	ケ							
カ	キ	ケ												
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください(以下同じ)。														
<table border="1"><tr><td>(○) できた</td><td>() 概ねできた</td><td>() 少し不十分</td><td>() できなかった</td></tr></table>					(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった											
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。														
<table border="1"><tr><td>(○) できた</td><td>() 概ねできた</td><td>() 少し不十分</td><td>() できなかった</td></tr></table>					(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった											

(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

(○) できた () 概ねできた () 不十分だった () 実施していない

資料添付 有 ・ 無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）
	校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。
	【工夫（例）】 ア 運営の工夫 ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。 イ 具体的な事例の紹介 ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。 ウ 外部講師を招いての講話 エ 体験的な研修 ・ロールプレイを取り入れる。 オ グループ討議 ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。 ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。 カ ワークシートの作成 ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。 キ チェックリストを作成 ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。 ク ファイリングして保存 ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。 ケ 決意表明 ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。 コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組 ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。

○4/23 コンプライアンス通信 vol.108（2021.4.21 付）回覧

○6/2 コンプライアンス通信 vol.109（2021.5.31 付）回覧

○6/25 コンプライアンス通信 vol.110（2021.6.22 付）回覧

○7/27 コンプライアンス通信 vol.111（2021.7.26 付）回覧

○8/31 コンプライアンス通信 vol.112（2021.8.30 付）回覧

○10/18 コンプライアンス通信 vol.113（2021.10.14 付）回覧

○10/18 3 教学第 763 号「教職員の懲戒処分の公表基準の改正について」回覧

○12/10 コンプライアンス通信 vol.114（2021.12.8 付）回覧

○1/11 コンプライアンス通信 vol.115（2021.1.4 付）回覧